

第 72 回 日経広告賞 贈賞式に出席いたしました



2023 年 12 月 15 日

本年 7 月 25 日、8 月 2 日の 2 週にわたり日本経済新聞 朝刊に掲載したシリーズ広告が、第 72 回 日経広告賞の「大賞」を受賞いたしました。今回受賞した「大賞」は日経広告賞の全応募作品約 8,000 点のうち最上位の賞となります。当社では 2020 年の「環境部門 最優秀賞・環境大臣賞」、2021 年および 2022 年の「生産財・産業部門 最優秀賞」に続き、4 年連続の日経広告賞の受賞となりますが、「大賞」の受賞は初となります。

去る 12 月 6 日に東京會館（千代田区丸の内）にて贈賞式が執り行われ、代表取締役社長の小幡学が出席いたしました。受賞企業を代表して登壇挨拶の機会をいただき、当社の広報活動と持続可能な社会の実現に対する取り組みについてお伝えしました。

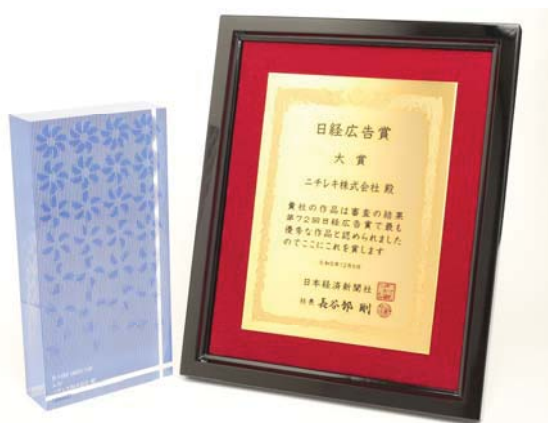
当社は今回の受賞を糧に、さらに多くの皆さまにニチレキの社会課題解決に向けた姿勢をご理解いただくための情報発信を進めるとともに、安全や環境に配慮した「道」創りを推し進め、持続可能な社会の実現に貢献して参ります。



トロフィー授与の様子



登壇挨拶の様子



記念のトロフィーと盾

次のページに今回の受賞広告についてご紹介いただいた記事を掲載しておりますので、あわせてご確認ください。なお、2023 年 10 月 25 日付「受賞のお知らせ」につきましては、[こちらから](#)ご覧いただけます。

「紙でデジタル巻き込む」工夫続々

日経広告賞大賞

ニチレキ



ニチレキは新たな価値を「アスファルト舗装」に創造。足元をコビリテ。NICHIREKI



(上) 2023年7月25日 (下) 8月2日
日本経済新聞朝刊 全30段・カラー

ニチレキは新たな価値を「アスファルト舗装」に創造。足元をコビリテ。NICHIREKI

社会貢献と開発型の好印象得る



代表取締役副社長
川口 裕司 氏

2019年から企業広告を掲載し始めて5年目の大賞となった。ヘルマン・ヘッセの小説「車輪の下」や「旧約聖書」のノアの方舟の神話に結びつけてインパクトある表現を狙った。「身近な道路、橋の安全や地球環境に貢献する企業であることをステークホルダーの皆様に伝え、存在価値を認識してもらい、認知度を高めたい」と川口裕司副社長と掲載の目的を定めている。

きっかけは5年前の創業75周年。交通インフラの老朽化が進む今、道路や橋の舗装・補修に携わってきたニチレキには、社会課題の解決に向けて高い存在価値があるはずだ。しかし建設業界で認知度が高くて、一般の人々にはなじみのない企業のままではないか、という強い問題意識を持った。実は公共事業が主体で安定した東証プライム上場企業ではないかと、日本経済新聞への広告掲載を決断した。

長寿命化舗装や排水性舗装などの先進的なアスファルトをはじめ、同社は研究開発企業として成長してきた。「自ら開発した技術が広告に載れば、開発者の士気が上がる。ひたむきに仕事に携わる社員と家族の誇りにもなる」とBtoB企業の広告戦略の重要性をニチレキは伝えている。